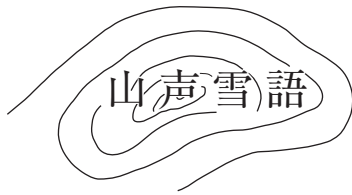


# 京交山岳部報

## 例会予告 (2017年2月～2017年3月)

例会・先行	日程・集合	担当者	コース
第2753回 雪の北山を歩く 天ヶ森(ナッチョ) (3等△484.9)	2月4日(土) 集合 AM 8:00 国際会館駅 白川通北側出入口前	井戸澄夫	国際会館駅～大原～小出石…天ヶ森往復
備考 マイカーで行きます。冬山日帰りの装備。			
第2754回 府民野鳥観察会 (岳連自然保護委員会主催) 岩倉川・宝ヶ池	2月26日(日) 集合 AM 9時 地下鉄国際会館駅 5番出入口付近	方山宗子 ( 岡田茂久	集合地→岩倉川→高野川合流地点→岩倉川→宝ヶ池・国際会館前→宝ヶ池通
備考 [持ち物] 防寒具, 双眼鏡 (あればフィールドスコープ), 筆記用具, 行動食, 折りたたみ傘 [参加費] 山岳連盟会員 500円 一般 1,000円 *小中学生は無料 (保護者同伴のこと) [講師] 日本野鳥の会 日本山岳協会認定自然保護委員 [天候] 前日18時以降のNHK TV 天気予報で, 26日午前の降水確率60% 以上の場合は中止 [申し込み締め切り] 平成29年2月23日(木)までに担当者まで連絡してください。 ※鳥さんたち寒いですね。今どうしているの? 宝ヶ池にはたくさんの水鳥が冬も暮らしています。とりわけ美しい「鴛鴦・オシドリ」の群生は特に珍しいものです。(カラー版の鳥類資料配布あり)是非一度山岳連盟自然保護観察会に参加してみませんか。きっと新しい世界が開けますよ。			
第2755回 残雪の比良を登る 堂満岳 (・1057m)	3月19日(日) 集合 AM 7時 五条烏丸東北角	井戸澄夫	五条烏丸～湖西道路～イン谷口…青ガレ…金糞峠…堂満岳…東稜線…イン谷～帰路
備考 冬山日帰り装備。帰路, 温泉入浴します。			
<b>2月の集会</b> 日時 2月8日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		<b>2月の企画運営委員会</b> 日時 2月22日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	
<b>3月の集会(総会)</b> 日時 3月15日(水) 18:30～ 場所 職員会館 「かもがわ」(雑報参照)		<b>3月の企画運営委員会</b> 日時 3月8日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



## 1年1年

T・H

昨年4月に新しい部署に異動して、精神的には大変で、日々やっていけるだろうかと思いがちながら、何とか少しずつ仕事に慣れ、また、職場の方々との関係にスムーズさが出来てきたように思っている。ただ、相変わらず多種多様の業務の多さには精神的に厳しさを感じている。

相変わらずの仕事の忙しさで、京交山岳部の集会等には参加できず、かつ山行きもできない。夏は大雨警報が出れば出勤。とても泊まりがけで旅行も行けない。仕事は市民に直結しているので、やりがいを感じている。ただ、私の心の体力では、ずっと続けることは厳しいと感じる。

この1月14日からの大雪で出勤。全国都道府県対抗女子駅伝の開催に向けて、ほぼ徹夜で業者さんと共に対応。明けて月曜の夜中から重い雪による倒木による道路の通行止めや融雪剤の準備から配布など、この1週間はとても厳しい状況。水尾地域でもここ数十年無かった大雪に見舞われた。また、愛宕山の月輪寺に通ずる道も雪による倒木の影響で通行止め。愛宕山の周辺は大変なことになった。が、その復旧に携わらせて頂けていることは、天上界（愛宕の神）の御心かとも思う。私は愛宕山に登り、水尾で袖風呂に入り、その後の一杯飲みでゆっくりさせていただいた恩返しとも思っている。

ただ、通行止めでもそれらのルートで愛宕山に歩いて登ったり降りたりする人がいるよう。なぜ、そこまでして自分のエゴを通したいのか。今しかできないことでは決してないはず。通行止めになっているのはそれ相当の理由があるからで、通れるからとルールを無視する人は山に登る資格は無いとも思う。

厳しいことを言わせていただいたのは、山行きに限らず余りにもエゴの方が多いと感ずるからだ。他を思う思いやりが今一番必要。特に、いつ大規模災害に見舞われるかもしれない現状では、行政頼みでは到底追いつかないことを想像して欲しいと思う。

久し振りに初登山で山に登らせていただいた。自然で汗をかくのはやはりすがすがしい。今まで以上に山に行きたい気持ちである。

## 【第2751回例会報告】

### 納山祭 猿ヶ尾

清水 康裕

今年は申年なので、最後に干支の山である猿ヶ尾に登ることになった。車は岡本義弘さんの10人乗りの自家用車1台で行った。

12月17日 林道を登り始めると、雨が降ってきた。しばらくして、あられに少しの間変わり、また雨にもどった。雨が止み林道と分かれて直登した。頂上かと思った所は手前のピークだった。尾根道を行き、猿ヶ尾の山頂に着いた。まだ、雨が止んでいるので吉田さんから借りたカメラで写真撮影を行った。20分間山頂にいたあと、下山した。鞍部から急下降し林道に出合う。そこでスナップ写真を撮って、林道を下っていると雨が再び降ってきた。駐車場まで往路下山した。

岡本義弘さんと吉田さんは負傷明けのため登られず、駐車場で雨風のなか設営していただき、土瓶蒸しを作って待っていてくださった。土瓶蒸しは温かくマツタケなど豪華具材が入っていて誠にありがたかった。義弘さんが小さいビール缶を加工して燃料コンロをこしらえておられ、その巧みな細工に驚いた。義弘さんが畑で作られた枝豆も調理後に冷凍してあり、風変わりであるが凍ったまま食べた。それがなかなかいける。方山さんが剥きやすい栗やミックスナッツを出してくださり、おいしく頂いた。

夕方、間人にある宿「はしうど荘」に着いた。「はしうど」とは、聖徳太子の母の名前のひとつであると宿「はしうど荘」の宿泊説明書に書いていた。夕食は間人カニではなかったがカニを中心に刺身にアワビやサザエも出てきて良かった。

夕食後部屋に集合と号令をかけた吉田さんが部屋に着くなり畳の上で寝入ってしまわれた。我々を待っていただいた間もお酒を飲んでおられたので、かなり酔われたのだろうか。私も日頃の疲れが溜まっていたので、すぐに自分の部屋へ移動して就寝してしまった。宿にはカラオケがなく外のスナックに行って歌おうという計画であったが、寝入ってしまい、恒例のカラオケを期待していた方は物足りなかったのではないかな。

12月18日 宿「はしうど荘」を出発し付近の海を見た。そのあと、琴引浜に寄ろうとしたが、駐車場の人が「濡れて鳴かない。」とおっしゃられたのでやめた。来日岳に向かったが、途中通行止めのため諦めた。出石でそばを食べて帰った。

当例会のサブタイトルはカニの暴れ食いでしたが、洒落た猿カニ合戦で猿年の山行が終わった。

#### 【コースタイム】

平成28年12月17日（土）8:30烏丸五条南西角—9:00沓掛IC—（京都縦貫道）—9:55由良川PA 10:05—10:15与謝天橋立IC—（R176）—11:15駐車場11:35…（林道）…12:25林道との分かれ…（急登）…12:30手前のピーク…12:45猿ヶ尾山頂13:03…



猿ヶ尾山頂 三等三角点401m



猿ヶ尾

13:06鞍部…(急降)…13:15林道との出合13:20…13:50駐車場(昼食)15:00  
—15:30経ヶ岬—16:05間人宿「はしうど荘」

平成28年12月18日(日)9:15宿「はしうど荘」—9:20近くの海岸—9:35琴引浜—10:00子午線塔—  
10:10久美浜—10:55来日岳への道路が通行止め—11:40出石そば処「出石  
城」12:30—13:15与謝天橋立IC—13:35由良川PA 13:40—14:10道の駅「京  
丹波 味夢の里」—15:30烏丸五条南東角

【参加者】井戸澄夫, 岡田茂久, 岡本義弘, 方山宗子, 森本清一, 吉田武, 鷺見壽末子, 清水康裕  
8名

[個人山行報告 H28.12.16~18]

## 富士山撮影と大室山(1,468m)

烏丸山下幸宏

富士山撮影で年に数回静岡や山梨に行くが、撮影だけではもったいないので、いつも軽い登山もセットにしている。今回は、「子抱き富士」で富士山に抱かれている大室山(1,468m)に登ることにした。

12/15 22時30分, 山口氏を迎えに行き, 23時頃東インター→新清水インターで降り, 国道52号を北上し, 最初の目的地である山梨県富士川町上高下(かみたかおり)地区に向かう。標高650m。ここは, ダイヤモンド富士撮影の有名スポットである。この地点には, 日の出時刻まで余裕で到着した。天候は晴れで気温-1℃であった。車内でヒーターをつけて待機する。やがて6時過ぎから空は明るくなり, シャッターを切りはじめた。そして7時前になると, 富士山上空には, 不思議な雲が出ては消えていくの繰り返し。かなり風が強そうだった。7時20分山頂中央付近から太陽が昇り, シャッター音と撮影者の歓声が, 静けさの中で響きわたった。みごとなダイヤモンドであった。終了後, 撮影者の足は速く, ほとんどこの場から消えていく。私達も更なる絶景を求めて以前から目を付けていた, 山梨県小淵沢に移動することとした。途中, 麓の増穂町で朝食を取り, 冷えた身体を温めた。9時40分「小淵沢大カーブ」と言われる場所に到着。JR小淵沢駅から車で3分, 小海線の列車と甲斐駒ヶ岳, 八ヶ岳をバックに撮影開始だ。引き続き快晴で, 風はないが-3℃で寒い。現地到着後あと数分で列車が通過するので, 急いで田んぼのあぜ道を走る。このチャンスを逃すと2時間待つ事になる。そして予定通り撮影終了したが, 甲斐駒は少しガスがかかり気味で今一つ。一方, 八ヶ岳連峰(編笠山, 権現岳)は青空と共に澄み切った写真を撮る事が出来, 満足した。そして11時過ぎ予約していたカツサンドを小淵沢駅売店に行き, 途中コーヒーを飲みながら味わった。これで本日の撮影は終了し, 時間が余ったのでシャトレーゼの工場見学をし, 明日の撮影も早朝から始めるので, 石和温泉にある健康ランドに向かった。まだ, 時間がたっぷりある。甲府市内の高台にある和田峠展望台で再び撮影(甲府市の夜景と富士山)した。健康ランドには18時頃到着, 翌日AM2:30まで滞在した。

12/17 AM3:00 健康ランド出発し, 精進湖を目指した。4時半頃到着, 湖畔の水辺ギリギリに車をとめた。引き続き快晴, 気温-5℃。昨日と同じ車内でヒーターを強めに効かせ, 日の出まで待機した。他の撮影者の何人かは, かなり元気でこのクソ寒中, 日の出時間まで外に立っている。午前7時20分富士山左側鞍部から太陽が昇りはじめ, シャッターを切った。思った通り撮れたので, これ

また大変満足で満面の笑みがこぼれていた。この時点で撮影枚数は、190枚であった。山口さんは、250枚を超えていた。私は、今までポジフィルムカメラを使用していたが、せいぜい72枚が限度であり、デジタルに変更してこの190枚の多さに驚いた。

そして、大室山へ向かう。県道71号の入口ゲート8時到着。(標高1,100m)

車4～5台しかとめられない狭い駐車場所。先客1台地元の車があった。また、青木ヶ原樹海の中である為、結構不気味でうす暗い。8時20分出発、富士風穴の横を進み、ブナの広場までは、精進口登山道を歩いた。その先、大室山へは登山道は無いので、GPSを使用し、ブナ広場から延びる沢状地沿いに登り、頂上に向かってほぼ直線的に進んだ。足元は、枯れ葉だらけであったが、滑らず歩きやすかったのが助かった。山頂には、9時36分着いたが眺望無し。少し先にある南峰に向かう。10分で南峰に着く。更にほんのわずか歩くと開けた場所に出る。富士山が目の前に大きくそびえ、今まで見た中では最大の展望であった。素晴らしいの一言、かなり早いのが、昼食のラーメンとおにぎりを食べた。30分以上楽しんだ後、往路を忠実に戻った。このルートが藪に絡まれないルートであると思う。12時下山した。その後、国道139号を南下、JR富士駅近くの「スーパーホテル」に宿泊。夕食は、富士駅前の「金時」で一杯やるつもりであったが、開店時間になっても一向に開かず、しびれを切らした山口さんが扉をあげ、店員かオーナーか誰か知らないが「まだです」と言われ、態度が悪かったので、前回私が利用した角山水産という魚のうまい居酒屋に入って反省会をした。翌日18日、例のごとく清水漁港に寄り、買物を済ませ、さっさと帰京した。今回のツアーは、3日間とも最高の天候であり、満足の連発で良かった。寒さで手がしびれているのも忘れるぐらい撮影に没頭したので、かなりストレス発散出来た。しかし、富士駅前の食事の件、「金時」の営業方針は、非常に残念であった。

【参加者】 山下幸宏 他1名



眺望のない大室山山頂



大室山山頂南側から

## 低山ハイク「鈴鹿峠と鏡岩」

吉田 武

正月気分も抜けて気晴らしに東海道五十三次の鈴鹿峠まで行きました。

昨年10月20日に弥十郎ヶ岳で右足首腓骨を滑落骨折してから76日ぶりのハイク。軽く足を慣らしに旧鈴鹿峠に登った。

何時も国道1号線のトンネルを抜けて鈴鹿峠を越すたびに思っていた。

東海道五十三次の鈴鹿峠はどんなかなーと、ワクワクしながら登った。国道1号線のトンネルの手前50mから右に旧東海道の道があり、そこから20分ほどで鈴鹿峠に着いた。

右 高畑山・左 三子山の道標があるが、殺風景な峠である。

少し三重県側を下ると 右 鏡岩まで150mとあるので登ってみると、高さ10m・廻り30mはあろうかという大きな岩で、1周回り込むことができない。三分の一は通行不可。しかし下を覗いてみると国道1号線の上り線と下り線がくっきり見えている。何とか岩の写真を正面から映したかったので、国道まで降りてから車で三重県側に降りて帰路この岩を写真に写そうとしたが、この岩は見つけられなかった。帰りは東海道49番目の宿場、土山宿の旧東海道の街並みや、伝馬館等を見学して帰った。

他1名



土山宿の街並み



伝馬館の入り口



鏡岩の道標



森鷗外 伝馬館来訪の碑

# 例会報告（まとめ）

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2751	納山祭 丹後半島 猿ヶ尾山	曇り	平成28年 12月17日(土) ～18日(日)	清水 康裕 岡本 義弘 吉田 武	岡田 茂久 鷺見壽未子 森本 清一 方山 宗子 井戸 澄夫	別稿詳報
2752	初登山 湖南 烏ヶ嶽	晴れ	平成29年 1月9日 (月・祝)	清水 康裕 松田 誠二 堀田 剛	岡本 義弘 吉田 武 岡田 茂久 鷺見壽未子 方山 宗子 大槻 雅弘 渡邊 智生 井戸 澄夫	次号詳報

## 雑 報

### △△△ 1月の集会（新年会）

日 時 1月6日（金）18：30～  
場 所 「かごの屋」四条烏丸下ル地下鉄四条駅6番出入口前 TEL 353-8936  
出 席 者 井戸，大倉，大槻，岡田茂，方山，木原，小森，  
堀田，松田，吉田，鷺見，渡辺，和田，清水 14名  
内 容 例会結果，例会予告，岳連関係報告，今年の抱負（次号報告）ほか

### △△△ 12月の企画運営委員会

日 時 12月21日（水）18：30～  
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）  
出 席 者 井戸，方山，吉田，清水 4名  
内 容 例会予告，岳連関係報告ほか

### △△△ 他山岳会の会報（受贈分）

1 月 号 京都山岳，趣味の登山，比良山岳，木雞

### △△△ 平成28年度部費受領者について

1月6日現在，先月号までに報告しました方々に加え，次の方から既に平成28年度部費を受領していますので報告します。

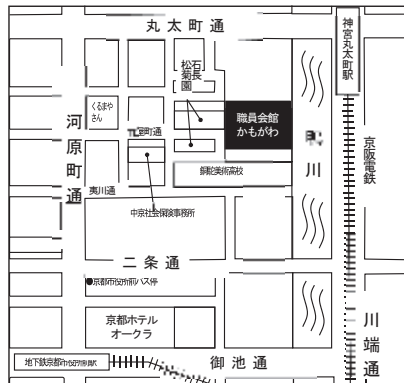
（敬称略）岡本義弘，木原滋，小森浩

### △△△ 平成29年度日山協山岳共済会の山岳遭難・捜索保険について

申込希望者は3月15日（水）総会のとしまでに井戸へ連絡してください。  
連絡先：井戸澄夫 携帯電話 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

△△△ 平成28年度総会 兼 3月集会 のお知らせ

日 時 3月15日（水）18：30～  
場 所 職員会館 かもがわ（位置図参照）  
会 費 1,000円（当日徴収）  
担 当 清水 康裕  
堀田 剛（〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）  
備 考 参加希望者は3月10日（金）までに  
必ず担当者へ連絡をお願いします。



位置図

想いをカタチにするお手伝い—

京都 洛北の自費出版会社

**北斗書房**

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2  
Tel: 075-791-6125 Fax: 075-791-7290  
URL <http://www.hokutoshobo.jp>

《 新入部員募集中 》

平成 29 年 2 月 1 日

京都市右京区太秦下刑部町 12

京 都 市 交 通 局 内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp/>